

科学部だって練習試合がしたい

韮崎サイエンスジム 2026



主催： 韮崎高校自然科学部・韮崎サイエンスジム企画運営委員会

日時： 2026年5月5日(火)

場所： 山梨県立韮崎高等学校(山梨県韮崎市若宮3丁目2-1)

時程：

11:20~12:00【受付】

12:00~12:20【開会行事】

12:20~15:00【スライド発表】

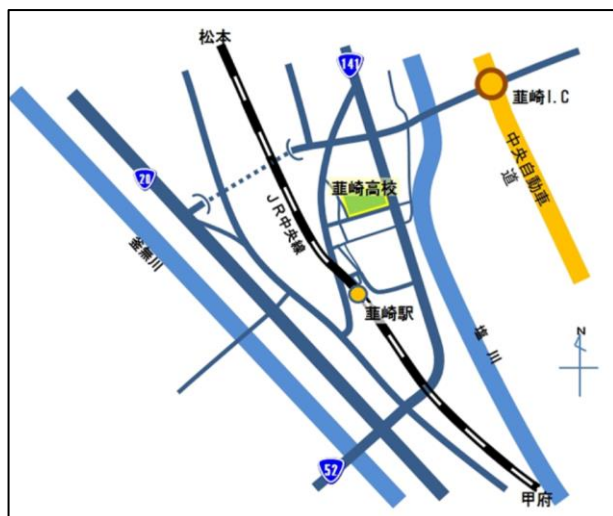
15:10~15:40【閉会行事】

以降, 自由参加・途中帰宅も適に

15:40~16:20【交流会】

目次：【☆当日印刷して配布】

1. あいさつ	2
2. 本イベントの目的	3
3. タイムテーブル☆	4
①全体時程と持ち物 ②各研究発表時間と発表時のルール	
4. 校内地図☆	5
5. 教室内の配置	6
6. 部門と審査員	6
7. 最優秀賞と公募の賞・審査結果報告用紙	6
8. 出場研究一覧☆	8
9. 賞一覧☆	11
10. 大会結果(受賞研究一覧)	13
11. 協賛	15
12. 諸連絡(次年度のエントリー等)	15



画像引用：韮崎高校ホームページ

1. あいさつ

山梨県立韮崎高校で自然科学部の顧問をしております小田雄仁と申します。今回は、本校自然科学部主催の行事に参加していただきありがとうございます。以下、前半は昨年と同じ内容ですが、ご容赦ください。

長年、自然科学部に携わっているなかで思うことが2つあります。1つ目は、イベント・大会ごと評価基準が異なり、ある大会で高評価を得たものが、他の大会では「箸にも棒にも掛からない」ということが当然のように起こるということです。2つ目は、「高校時代にどれほど素晴らしい賞をとったとしても、将来の科学者としての活躍が約束されるわけではない」ということです。この2つの事象は、自然科学部に関わる方なら、当たり前を受け止められると思いますが、他の部活動では、まず起こりません。有名な大会で上位入賞を果たした吹奏楽部の演奏者が他の大会では1次審査すら通らないとか、その人が大学でもちゃんと演奏者としてやっていける保証がないとか、そんなことはありません。でも自然科学部ではおこります。ここが自然科学部が他と大きく異なる点です。

では反対に、大学や社会人の研究にはなく、高校の研究活動にだけあるものは何でしょうか？ 1つ目は、1つのイベント・大会に、様々な分野の研究が出てきて、モザイク画のような、もしくは闇鍋のような雑多な状況になることで、2つ目は、その中で研究に順位がつくこと、勝ち負けがあることです。大学以降の発表会である学会では、そこに勝ち負けはありません。でも、高校の発表には様々なジャンルの研究の中で順位がつくのです。ここに、高校時代にしかできない研究活動の魅力があると思います。そして、高校時代の研究活動を通して、面白いと感じたうえでプロの研究者になることが、将来の科学者としての礎や心の中の羅針盤になるのではと思ってます。

サッカーには、プロであれば、J1、J2、J3があり、高校もリーグ制を敷いていて、韮崎高校のように部員数が多い学校は、A チーム、B チームのように複数のチームがあり、それぞれのリーグで戦っています。リーグ制のいいところは、多くの生徒に試合の機会が与えられることと、同程度の強さの相手と試合ができることです。一方、自然科学部は、出場機会がないということはありませんが、試合に出ても強者ばかりで肩身が狭い思いをしたり、もしくはエントリーしても書類審査が通らずそこで終了ばかり、ということがあります。でも、そのような1回戦敗退ばかりの生徒も急に研究が進み、大きく成長する可能性もある、これも高校の課題研究の特徴ですし、だからこそ、なるべく多くの研究に光を当てるべきだと思います。

このサイエンスジムは、多くの研究に賞が行き渡るように、上位・次点・迷子と3段階のクラス分けをしました(今回は、2段階のようなものですが)。また、データが厚くて強い研究も、そこまで厚みはない研究も同じ土俵で勝負できるための審査基準として、研究への熱量や研究を通しての成長具合も審査項目としました。高校生がする研究はどんなにレベルが高いといっても、プロから見たらまだまだ穴だらけです。だからこそ、弱者であっても遠慮しないで思いっきり高飛車になって、自分の研究を語るべきだと思います。

それと、このサイエンスジムの特徴の1つに、各校が賞を持ち寄ることがあります。韮崎高校からも生徒が審査する賞が2種類と、卒業生が審査する賞が2種類の計4つの賞を用意しました。その中で、卒業生に賞の依頼したときのメールが私はとてもその通りだと思ったので紹介します。

「韮高楽し賞」

基準:学生が楽しんで研究してることと、研究の発展性がありそうなこと

景品:お菓子詰め合わせ(600 円分)

設定理由:研究の価値と言われると、研究のクオリティや社会的な価値を考える人が多いと思う。ただ、

私たちは研究の価値はそれだけでなく、単純に研究が楽しいといったことや、社会的に価値はなくても

目の前にある現象の原理に迫ることにあると考えている。そこで、研究のクオリティや社会的な価値を評価する賞はすでに存在しているため、私たちの考える研究の個人的な価値で研究を評価してみたいと思ったため上記の賞を設定した。

大層な理由になっていますが、要約すると、「突き詰めていくと面白そうで、それを高校生が楽しんでいる研究である」ということを評価する物です。景品をお菓子にした理由は、研究を複数人でやっている場合、全員で山分けできるような景品の方が望ましいと考えているためです。

このサイエンスジムに向けての発表練習や、当日の発表を通して、多くの生徒さんが、改めて自分にとって研究とは何なのか、それを見つめなおしたのではないのでしょうか。今年度の皆さんの研究の日々のスタートに蕪崎高校が立ち会えることを光栄に思います。

ご参加くださりありがとうございました。

蕪会サイエンスジム企画運営委員会 小田雄仁

2. 本イベントの目的

- ① サッカーのリーグのように、研究に対して似た価値観の学校どうして切磋琢磨しあう関係を作りたい。その交流の機会を作りたい。
- ② 自然科学部の新入生が、他校の研究発表を聞くのは夏以降になるケースが多い。普段の部活動では、先輩たちが実験をしている様子を見るばかりで、活動のモチベーションが上がりにくい。各校の新入部員が新年度の早い段階で他校の研究発表を聞け、研究への理解・意欲を高める機会をつくる。
- ③ 発表者が、研究の面白さや研究を通し何を得られたか、そこまでプレゼンし、そこまで評価対象となるような大会を作る。イベントを通して互いのモチベーションや目的を共有し、研究に対する意義を深めるとともに、新1年生に、研究の面白さや大変さを伝える機会とする。
- ④ 運営が用意する賞以外に、クリスマスのプレゼント交換のように、互いに賞を与えあえるようなイベントを作る。全国レベルの研究でなくても評価される(賞がもらえる)ように、トップ層がない部門も創設する。

3. タイムテーブル:①全体の時程

	運営・審査員	参加者
前日 9:00～	本校生徒による会場準備	
当日 10:00～	本校生徒集合・最終打合せ スタッフ・OB 集合(11:00) 審査員集合(11:30 応接室)	
11:20～12:00	受付	受付・必要に応じて荷物をクロークへ
12:00～12:20	開会行事(視聴覚にて対面で)	
12:20～15:00		発表
～15:10		10分以内に審査結果を決める
15:10～15:40	閉会行事(視聴覚で順次, 賞を発表。賞を用意していない学校も代表生徒が一言)	
15:40～16:20	交流会	受賞した研究は本部で賞や物品を受け取り 解散

最後の発表が終わったら, 即, どの研究に賞を授与するかを各校で決める【10分しかありません!】。
審査結果(用紙は当日配布)と受賞者に渡す物品をもって本部(視聴覚室)に移動。

参加者全員が本部に集合

閉会行事では,

- ・本校が依頼した審査員 4 人(+文系研究審査員)による受賞対象となぜそれを選んだか
(4人×3分=12分)
- ・各校から受賞対象となぜそれを選んだか(7校×3分=21分)
各校からの説明は持ち時間をオーバーしても構いません。

例:〇〇高校の〇〇です(所属と氏名)。このイベントに参加して(講評を話す)。では, 〇〇賞です。渡すのは賞状です(渡すものを話す)。1つ目は【高校名とタイトル】です。この発表を聞いて(選んだ理由を話す)
2つ目は, 【高校名とタイトル】〇〇です。【選んだ理由を話す】。おめでとうございます。

のように, 所属・氏名・イベントや全体の講評・賞の名称と渡すもの・受賞研究と選んだ理由を1つの賞につき2分程度で話す。話した後, 賞状や渡すものは, 各学校の袋に入れる。各校の代表者は帰宅前に本部によって, 受賞品を受け取ってから帰る。

【持ち物】

- ①スライドデータの入った PC(データを USB で持参する場合は各教室にある PC を使ってください)
 - ②スライド資料2部(A4に4つのスライド), ③上履き, 参加費1000円(1研究あたり)
- モニター(TV)には HDMI(もしくは C 端子)で接続するがそれ以外の場合は接続ケーブルを各校で用意

②各研究発表時間と発表時のルール

	2年1組	2年2組	2年3組	2年4組
12:20~	5 諏訪清陵 理Hi エメラルド合成 A エメラルドの研究	30 韮崎 文系次点 地域課題 F 立ち上がりやはたいぬ	16 諏訪清陵 理Next 水晶 C 吉田山水晶の研究	20 韮崎 理Next 音, 波 D 壁穴の吸音
12:40~	25 松商学園 理Next 消臭 D Ooho! の吸着	13 焼津中央 理Hi 生態系 B 釣りゴミの解析		1 諏訪清陵 理Hi 数学? A 自然勾配法の拡張の研究
13:00~	2 安田学園 理Hi 電池 A ハイブリッドDSSC	26 諏訪清陵 文系上位 伝統・文化 F 高島城の研究	17 諏訪清陵 理Next 宇宙 C 流星塵の研究	22 諏訪清陵 理Next 温度 D 鉄平石の研究
13:20~	24 安田学園 理Next 電子の流れ可視化 D BTBを用いた可視化	14 安田学園 理Next 恐竜 C ヴェロキラプトルの抱卵行動	10 安田学園 理Hi 昆虫 B ミツバチの栄養交換	27 富士見 文系上位 地域課題 F 日本の地域間における教育格差の是正
13:40~	7 諏訪清陵 理Hi ルミノール A ルミノール発光の研究	28 安田学園 文系次点 伝統・文化 F 本所七不思議	9 諏訪清陵 理Hi ロボット B 多目的ロボットの研究	21 韮崎 理Next 物性 D 異方性コンクリート
14:00~	3 安田学園 理Hi 結晶構造 A TPの特性	15 焼津中央 理Next 微生物 C 釣り糸の生分解	8 安田学園 理Hi 動作数値化 B 空手の形競技の数値化	29 松商学園 文系次点 地域課題 F 食育の重要性について
14:20~	6 諏訪清陵 理Hi スライム A スライムの研究	11 焼津中央 理Hi 昆虫 B クワガタムシのメス斑	19 韮崎 理系連子 プラスチック染色 C プラスチックの染色	23 甲府南 Next 電池 D Al-Zn電池の逆転現象
14:40~	4 諏訪清陵 理Hi 有機EL A 有機ELの研究	18 韮崎 理系連子 消火剤 C 新しい消火剤の開発	12 韮崎 理Hi 生態系 B 甘利山さわら池の調査	
	理系上位A	理系上位B	理系次点C	理系次点D 地域課題・人文社会

発表時のルール:

- ① 各研究の持ち時間は20分(発表12分, 質疑応答6分, 交代2分)
- ② 放送(各教室にある PC に teams の音声で時間管理)で、「それでは発表を始めてください」と流れたら発表開始。
- ③ 発表終了後, 発表者自身が「以上で発表を終わります。何か質問・アドバイスありますか?」と聞き, 挙手したものを発表者自身が, 指名して質問を受け応える。質問者がいない場合は, 自分たちで「補足ですが…」とか言うのもアリ。
- ④ 「発表を終了してください(発表開始18分後)」のアナウンスがあったら, 質問や回答の途中でもいったん打ち切り, PC を片付けて次の発表者に交代する。途中の質問については後程個別に対応する。
- ⑤ いきなり仮説等から入るのではなく, 「どうしてこの研究をはじめたか。研究を通して感じた面白さ」を, 終わりは「この研究を通して得られたこと。自分自身が成長できたこと」を必ず話す。前後の話は合わせて1分以上とる。その情熱も審査対象である。
- ⑥ 早く質疑応答が終わっても次の発表は始めない。他会場から見に来る人もいるので, タイムスケジュールに沿って進行。

4. 校内地図

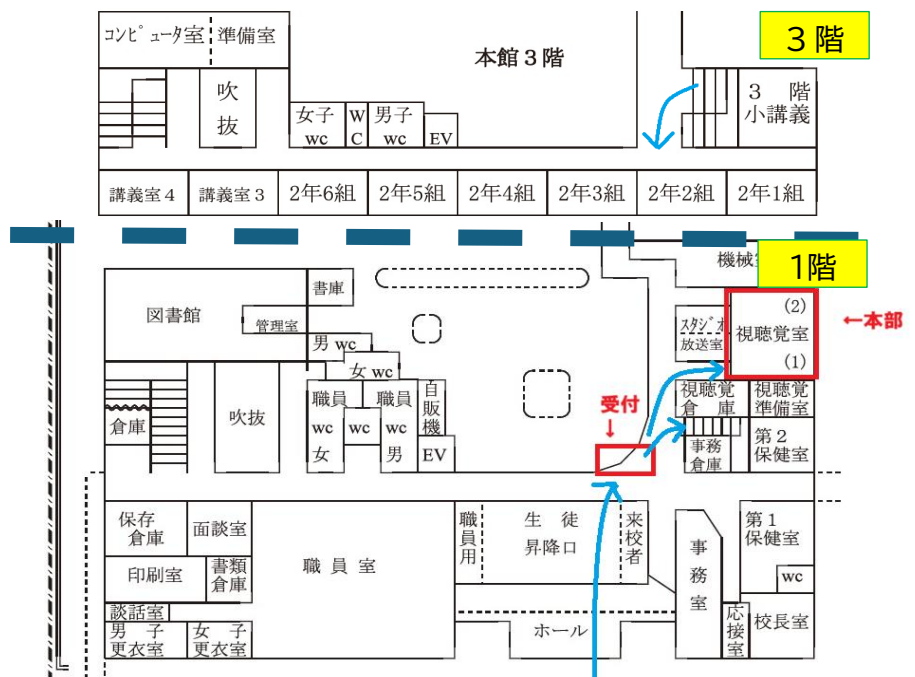
本部(1階)

…開会式・閉会式を放送する場所

大きい荷物を預かる(クローク)

発表会場(3階)

…2年1組~4組



5. 教室の配置

右写真のように参加者は黒板上部のモニターに映されたパワポで説明。

審査員も参加生徒も適当な席に座って聞く。部屋によっては35席の部屋もある。荷物で席をキープしないように。また、審査員も同一部屋とかでないのも移動し奈良が聞く。



6. 部門と審査員

【理系(数学・化学分野)トップオブトップ部門 (理系上位)】

【理系(工学・生物学分野)トップオブトップ部門 (理系上位)】

【理系(生物・宇宙・地域課題分野)ネクストユニコーン部門 (理系次点)】

【理系(物理・化学分野)ネクストユニコーン部門 (理系次点)】

【人文社会・地域課題解決部門 (文系研究)】

審査員(所属) 敬称略	部門		
	トップ	ネクスト	文系
佃 俊明 (山梨大学教育学部 教授)	○		
風間ふたば(山梨県立大学 地域人材養成センター 特任教授 山梨大学 (名誉教授))	○		
佐々木 智謙 (山梨大学大学院 総合研究部 准教授)		○	
杉山 雅俊 (山梨大学大学院 総合研究部 准教授)		○	
小田 雄仁 (韮崎高校SSH主任・自然科学部顧問)			○

※ 「トップオブトップ部門」「ネクストユニコーン部門」はそれぞれ2つに分けて審査をします。審査員の先生方がどちらを担当するかは、当日に先生方で協議して決めていただきます。

7. 最優秀賞, およびそれ以外の賞

①最優秀賞の審査基準

2026年もリバネス主催のサイエンスキャッスルの評価基準をそのまま採用しています。

発表者は専門外の人にもわかりやすく説明する工夫をしてください。

着想: 問いや課題意識のおもしろさ、着眼点のユニークさがあるか

情熱: 研究対象への好奇心や、挑戦への意欲があるか

研究サイクル: 仮説検証や設計開発を繰り返し、考察ができているか

伸びしろ: 研究の発展性を自分で考え、語れているか

②「最優秀賞」以外の賞について

最優秀賞以外の賞はすべて公募とする。運営側から依頼する以外に、賞を出したいという団体・個人を受け付ける。

③審査用紙・報告用紙

賞を用意してくれた学校には、受付で、受賞研究報告用紙(賞の数だけ)を渡す。審査をするメンバーで協力して、多くの発表を聞いてください。

8. 出場研究一覧

1	長野	理系上位	諏訪清陵	A	<p>自然勾配法の実バナッハ空間への拡張</p> <p>自然勾配法の拡張の研究</p> <p>景山ルイジ弘彬(3年)</p> <p>自然勾配法と呼ばれる連続関数の最適化手法があります。本研究は、接空間がBanach空間と同型になるRiemann多様体上へと自然勾配法を拡張する事に関するいくつかの定義と定理を提示します。</p>
2	東京	理系上位	安田学園	A	<p>ダーク条件で利用可能なハイブリッド型色素増感太陽電池</p> <p>ハイブリッドDSSC</p> <p>折坂唯斗(3年),高木大輝(3年),弘中亜衣莉(3年),山口真ノ介(3年)</p> <p>ライト条件でしか発電できない太陽電池を、ダーク条件でも電力を示せるようになれば蓄電装置は必要なくなる。そこで電解液をセルケースに浸したところ、電気二重層キャパシタや濃淡電池によるダーク条件での電力を示すことが分かった。</p>
3	東京	理系上位	安田学園	A	<p>pH指示薬であるチモールフタレインの持つ新たな特性</p> <p>TPの特性</p> <p>菟田明澄(3年)</p> <p>本研究ではチモールフタレイン(TP)の温度特性や酸塩基度変化を顕微鏡観察や電力比較によって研究した。結果ミラー指数を用いて結晶成長面を予想し、構造相転移が起こっている可能性が示唆された。</p>
4	長野	理系上位	諏訪清陵	A	<p>α位をアルキル基で置換したジベンゾイルメタンフッ化ホウ素錯体の分子凝集過程</p> <p>有機ELの研究</p> <p>三井颯哉(3年), 和揆杜夜(3年), 小森啓志(2年), 藤田宏望(2年)</p> <p>世界初合成のBF₂DBM誘導体を用い、結晶化過程で現れる「中間体」の正体を調査しました。分析の結果、この中間体は結晶の構造ではなく、単量体に近い光り方をする「単量体のような凝集体」であることを解明しました。</p>
5	長野	理系上位	諏訪清陵	A	<p>フラックス法を用いたエメラルド合成における生成の解明と考察</p> <p>エメラルドの研究</p> <p>篠原匡(3年), 須藤綾乃(3年), 小松亮太(3年), 白木真琴(2年), 新村聡一朗(2年)</p> <p>フラックス法を用いたエメラルド合成において、エメラルド生成過程についての調査を行った。その結果、私たちは、未溶解の二酸化ケイ素が結晶核となりエメラルドが生成されると考察したため、本研究ではこの仮説を検証した。</p>
6	長野	理系上位	諏訪清陵	A	<p>粘度測定に基づくスライムの架橋形成反応の平衡定数評価</p> <p>スライムの研究</p> <p>齋藤正佑(2年), 阪田時久(2年)</p> <p>私たちは先行研究で得たスライムの架橋形成反応の平衡定数を評価するため、スライムの原料であるPVAとホウ砂の量を変化させることで目標とした粘度を得ようと考えている。架橋構造とスライムの原料の濃度比を求め粘度を設定しスライムを作製したが、実際の粘度とは差があった。</p>
7	長野	理系上位	諏訪清陵	A	<p>溶存酸素量と濃度の変化におけるルミノール発光の相関関係</p> <p>ルミノール発光の研究</p> <p>時田源也(3年), 近藤縁(3年), 山田崇文(2年)</p> <p>ルミノール反応で酸化剤として溶存酸素を用いることに着目した。結果、溶存酸素量の増加に伴い発光量も増加する、ルミノール濃度を高めると反応が促進するといった通常のルミノール反応と同様の性質が確認された。</p>
8	東京	理系上位	安田学園	B	<p>モーションキャプチャーを利用した空手の形競技の数値化</p> <p>空手の形競技の数値化</p> <p>田島希美(3年)</p> <p>空手は世界競技人口が1億人と非常に多いのにも関わらず、形競技は客観的評価が難しい。本研究では、マーカーレスモーションキャプチャーを活用して、重心速度やJerk Costを用いた定量的な採点を試みた。</p>
9	長野	理系上位	諏訪清陵	B	<p>災害救助と林業支援を目指した多目的ロボットの開発</p> <p>多目的ロボットの研究</p> <p>小林雅人(3年)</p> <p>高い走破性と作業性をロボットで両立するため、脚をハンドとしても利用できるホイール付きの六脚ロボットを考えた。私たちはその実現のための機構を考え、製作している。今回はアームの製作について発表する</p>
10	東京	理系上位	安田学園	B	<p>深層学習を用いたマーカーレス姿勢追跡ツール DeepLabCutによるミツバチの栄養交換を誘発する触角ムーブメントの解析</p> <p>ミツバチの栄養交換</p> <p>國谷理久(3年), 西野大翔(3年)</p> <p>ミツバチは口移しで蜜を受け渡す栄養交換を行う。この時に見られる特徴的な触角の動きを動画解析AIツールで定量的に分析し、空腹側の蜂が自身の触角を小刻みに振動(50 Hz以上)させる機械刺激が提供側の蜜の吐き出し行動を誘発することを突き止めた。</p>

11	静岡	理系上位	焼津中央	B
クワガタムシ幼虫に見られるメス斑とは何か？				
クワガタムシのメス斑				
渡邊泰嗣(2年), 岡田佑飛(2年), 川合麻夢(2年)				
クワガタムシ幼虫に見られるメス斑は一般的に卵巣原基といわれている。しかし、メス斑が卵巣原基では無い可能性や、幼虫時に存在するメス斑はメス成虫の菌嚢と同様に微生物が共生する場所である可能性が高まっている。				

12	山梨	理系上位	韮崎	B
甘利山さわら池の調査～土砂災害の伝承から考える「さわら池」の未来～				
甘利山さわら池の調査				
荻原佑和(3年)有賀翔(3年)新海陽太(3年)				
さわら池は希少種の生息地だが、修復後も急速に陸地化が進み、古くから地滑りの可能性も指摘される。生態系保全と地滑り防止のため早急な対策が必要である。				

13	静岡	理系上位	焼津中央	B
静岡県石津浜海岸における釣り人の動向と釣りゴミの解析				
釣りゴミの解析				
吉澤諒成(2年), 大橋智弘(2年), 岩崎真大(2年)				
静岡県石津浜にて釣りゴミの回収や釣り人へのアンケート調査, SNS釣果データの解析, 海岸線距離の測定をした結果, 釣り人の動向と釣りゴミの季節性の一致, 県内の釣りゴミが年間3トン以上に及ぶと判明した。				

14	東京	理系次点	安田学園	C
巣環境の再現から探るヴェロキラプトルの抱卵行動				
ヴェロキラプトルの抱卵行動				
高畠南(3年)				
映画「ジュラシック・ワールド」のヴェロキラプトルは実像と異なる。本研究では系統的ブラケット法と巣環境の再現実験を用いて、ヴェロキラプトルの抱卵行動について研究を行った。				

15	静岡	理系次点	焼津中央	C
釣り糸の生分解に寄与する微生物の同定				
釣り糸の生分解				
岩崎真大(2年), 吉澤諒成(2年), 大橋智弘(2年)				
海底に設置した釣り糸を対象に、付着するバイオフィルムの観察や微生物の培養を行い劣化過程を調べた。さらにメタゲノム解析などを通して、生分解に寄与する微生物の同定を目指している。この研究により、海洋・生態系保全へ繋がることを期待できる。				

16	長野	理系次点	諏訪清陵	C
茅野市吉田山の水晶の産状と教育的利用について				
吉田山水晶の研究				
須貝 雄太・阪田 時久(2年)				
水晶産出を示す文献がほぼ無い茅野市吉田山のフィールドワークにて小型水晶の産出を確認。吉田山を構成する閃緑岩帯内で生成されたものであると推定され、地域学習や展示で地質教育に活用できることが期待される。				

17	長野	理系次点	諏訪清陵	C
学校敷地内での流星塵採集の検証				
流星塵の研究				
須貝 雄太(2年)				
本研究においては流星塵の採集において一般的とされる2つの手法で採集が可能か検証することを目的とする。				

18	山梨	理系迷子	韮崎	C
シャボン玉を用いた窒素消火剤 ～山林火災に活用～				
新しい消火剤の開発				
市川萌愛(2年)				
私たちは、新しい森林火災のための消火剤として、窒素を充填したシャボン玉の可能性を検討しています。泡を泡状にしてネットに入れることで、酸素を遮断し、効果的に炎を消火することができます。私たちの目標は、この方法を改良し効率性を高め、実現化することです。				

19	山梨	理系迷子	韮崎	C
プラスチックの染色				
プラスチックの染色				
保坂玲(3年)				
食塩にマイクロプラスチックが混入しているというニュースを聞いた。そのプラスチックを染色する方法について研究を行っている。				

20	山梨	理系次点	韮崎	D
穴の形を変えると吸音効果に違いは出るか				
壁穴の吸音				
小澤奈々(3年), 志村優斗(3年), 油井知春(3年)				
吸音のために体育館や音楽室の壁には丸い穴があるが、丸が最適なのかをモデル化して検証している。現時点の私たちの実験では、丸よりも星形や二等辺三角形の穴の方が、吸音効果が高いことが分かった。				

21	山梨	理系次点	韮崎	D
プラスチックを用いた新しいコンクリートの開発				
異方性コンクリート				
五味美陽(2年), 野々村唯代(2年)				
板状のプラスチックをコンクリートに混合することで割れ方向に差異が生じる特性を発見した。現在は立体的なプラスチックによりコンクリートにどのような特性が出るかを研究している。				

22	長野	理系次点	諏訪清陵	D
温暖化対策としての鉄平石の屋根面での使用について				
鉄平石の研究				
坂田 秀介(3年)				
鉄平石の屋根面で使用した際の温暖化対策を調べるため、鉄平石、木、鉄板、発泡スチロールの4つの素材を用い実験を行った。その結果、素材の色による熱吸収率、反射率、保水性による変化が現れた。				

23	山梨	理系次点	甲府南	D
Al-Zn電池の逆転現象について				
Al-Zn電池の逆転現象				
太野信之(2年), 伊藤柑太(2年), 渡邊凜子(2年)				
塩酸を電解液に使用し、亜鉛とアルミニウムを用いて電池を作成した際に電流の向きが、イオン化傾向とは逆転することを確認した。この逆転は溶液の液性に関係するのではないかと考え、液性と逆転現象の関係を明らかにしたいと考え研究した。				

24	東京	理系次点	安田学園	D
BTB溶液を用いた電子の流れの可視化				
BTBを用いた可視化				
齊藤悠香(2年), 木内希美(2年), 川合咲英(2年)				
色素増感太陽電池の増感色素にBTB溶液を用いると、電子の流れが可視化できるのではないかと考えた。BTB溶液は通常pH指示薬として用いられているが、電子を受け取ると青色に呈色することが分かった。				

25	長野	理系次点	松商学園	D
Ooho! を活用した匂いの吸着				
Ooho! の吸着				
小林瑞季(2年) 小松千桜(2年)				
本研究では、アルギン酸ナトリウムと乳酸カルシウムから作られるOoho! に着目し、匂いの吸着に活用できるかを調べた。Ooho! の作製と性質確認を行ったうえで、酢やアンモニアを用いた実験を行い、更に消臭効果を高める方法について研究した。				

26	長野	文系上位	諏訪清陵	F
高島城の天守はなぜ瓦葺きがされなかったか				
高島城の研究				
平田 翔太郎(3年)				
高島城では瓦葺きが使用されなかった理由を従来の通説を検証し、同時代の他の信濃・甲斐の城郭の瓦・石垣の使用の観点から考察し、高島城に瓦工人が派遣されなかった、あるいは経済的な理由だった可能性が浮上した。				

27	東京	文系上位	富士見	F
日本の地域間における教育格差をなくすには ~山梨県の大学進学率が高い理由から考える~				
日本の地域間における教育格差の是正				
田村藍(2年), 藤井梨乃(2年), 貝瀬真衣(2年), 望月志栞(2年)				
私たちは日本の教育における地域格差について調査しています。その中で、山梨県の大学進学率が全国第3位と非常に高い水準にあることに着目しました。山梨県の大学進学率が高い理由を分析し、その要因を他の都道府県にも応用することで、日本の地域間における教育格差の是正につながるのではないかと考え、この探究を進めています。				

28	東京	文系次点	安田学園	F
本所七不思議は何を伝えたかったのか				
本所七不思議				
湯田凜(2年), 堀田恵子(2年), 黒田莉梨(3年)				
本所七不思議とは、東京都墨田区に江戸時代から伝わる民俗的な伝承である。なぜ本所七不思議は現代まで淘汰されずに生き残ったのか。本研究では諸文献の比較や実地調査を通して本所七不思議の真髓に迫ろうと思う。				

29	長野	文系次点	松商学園	F
外見至上主義者期における食育の重要性について				
食育の重要性について				
澤地柚葉(2年)				
日本の現代社会で重要な健康問題の一つともいえる若年世代の女性の低体重化について探求した。低体重の将来的な健康問題や若年世代の女性が瘦身願望をもつ要因などに着目して探究を進めた。				

30	山梨	文系次点	韮崎	F
山梨の人口減少問題を解決するため、立ち上がれやはたいぬ				
立ち上がれやはたいぬ				
中村莉子(3年)				
人口減少に悩む山梨県で、観光による交流人口増加を目指し、甲斐市のマスコット『やはたいぬ』を活用したグッズ開発やSNS発信、外部とのコラボ戦略を考案。大学教授や市役所の助言を得て、主体的な地域活性化に挑む。				

9. 賞一覧

名称	審査員	授与するもの
審査対象		
審査基準・備考		

葦崎サイエンスジム最優秀賞	事務局が依頼した人	賞状×2研究
【上位】【次点】の全研究(理系・文系)		
2026年度は以下の4つの基準で審査(柵リバネス主催の大会を参照しています) ①着想:問いや課題意識のおもしろさ、着眼点のユニークさがあるか ②情熱:研究対象への好奇心や、挑戦への意欲があるか ③研究サイクル:仮説検証や設計開発を繰り返し、考察ができているか ④伸びしろ:研究の発展性を自分で考え、語れているか オリジナル賞状のデザインは葦崎高校R5年度卒業生 金澤杏詩さんが制作		

※以下は、すべて公募の賞となります。すべての研究を見て審査できるわけではありません。賞を用意してくれた学校が発表を見れないケースもあります。また、審査基準は各々バラバラです。その不公平さも含めて了承していただける方に賞を用意していただいています。また、「高校」「高校のOB・OG」は閉会行事で受賞研究の発表もしてもらって準備をしておいてください。

安田学園生物学賞	安田学園高校生物部顧問・OBOG	賞状、副賞(蜂蜜)
生物学やその関連分野に関する優れた研究(全部門が対象)		
安田学園高等学校生物部のOB/OGと顧問が手分けして各研究を聞き、協議して決める。仮説検証型の実証研究を高く評価する。安田学園高校の研究は審査対象から除外する。		

安田サイエンス優秀賞	安田学園サイエンスクラブ顧問	図書カード、賞状
全研究対象		
安田学園サイエンスクラブの顧問が、優れていると認めた研究に授与する。 ※安田学園以外		

安田サイエンスフューチャー賞	安田学園サイエンスクラブ員	図書カード、賞状
全研究対象		
安田学園サイエンスクラブの部員が、未来あるテーマ・内容であると判断した研究に対して授与する。 ※安田学園以外		

安田サイエンドレス賞	安田学園サイエンスクラブ員	図書カード、賞状
全研究対象		
安田サイエンスクラブの部員が、継続して研究してほしいと思うテーマ・内容であると判断した研究に対して授与する。 ※安田学園以外		

富士見未来賞	富士見高校生徒	お菓子
全研究対象		
未来に貢献できると感じた発表に授与する。		

富士見WOMEN賞	富士見高校生徒	お菓子
女子の研究対象		
女子の研究の中で、もっとも心に残ったものに授与する。		

富士見文系賞	富士見高校生徒	お菓子
文系の研究対象		
文系の研究の中で、もっとも優れていると感じたもの授与する。		

富士見未知賞	富士見高校生徒	お菓子
全研究対象		
今まで私たちが全く知らない内容で、面白いと思った研究に授与する。		

富士見探究賞	富士見高校生徒	お菓子
全研究対象		
もっとも研究に対する熱意が感じられた研究に授与する。		

情熱中央賞	静岡県立焼津中央高校生徒	焼津ご当地商品『バリ勝男クン』
全研究対象		
特に研究に対して熱量があると判断した研究に授与する。		
研究依存賞	諏訪清陵高校生徒	図書カード・自家製エメラルド
全研究対象		
研究者が研究に没頭し、研究に依存しているのでは、と思えるほど熱心に研究していると感じられる研究に授与する。		
スライド賞	諏訪清陵高校生徒	図書カード・自家製エメラルド
全研究対象		
研究発表のスライドの構成やデザインが見やすく見映えのする、優れたスライドと感じられる研究に授与する。		
イマジネー賞	諏訪清陵高校生徒	図書カード・自家製エメラルド
全研究対象		
研究のテーマ、内容、手法、実験、調査などにイマジネーション(独創性、創造力など)が感じられる研究に授与する。		
心に残ったで賞	松商学園高校生徒	図書カード
全研究対象		
生徒たちが手分けして各研究を聞き、一番心に残った2研究に賞を提供。		
わくわくしたで賞	甲府南高校生徒	山梨の味セット
全研究対象		
発想のユニークさを感じた研究を甲府南高校生徒が選出します。		
ロマンがあるで賞	甲府南高校生徒	山梨の味セット
全研究対象		
ロマンを感じた研究を甲府南高校生徒が選出します。		
蕪高楽し賞	R5R6の蕪崎高校卒業生	お菓子詰め合わせ×4～6研究(賞状なし)
全研究対象		
楽しんで研究してることと、研究の発展性がありそうなこと		
蕪高クリエイティブ賞	R7の蕪崎高校卒業生	カステラ×5研究(賞状なし)
全研究対象		
3月に卒業したばかりの蕪崎高校自然科学部OBたちが手分けして各研究を聞き、協議してきめる。		
蕪高自然科学部賞	蕪崎高校自然科学部23年	図書カード×5～7研究(賞状なし)
蕪崎高校以外の全研究対象		
蕪崎高校2.3年が手分けして各研究を聞き、独断と偏見で賞を授与する。蕪崎高校以外に授与		
蕪高自然科学部新人が選ぶ賞	蕪崎高校自然科学部1年	お菓子×5～7研究
蕪崎高校以外の全研究対象		
蕪崎高校1年生が自分たちの独断でいいと思った研究を選び授与。※蕪崎高校以外		

10. 大会結果(受賞研究一覧 韮崎サイエンスジム 2026)

賞の名称		審査員	授与するもの
受賞校	受賞した研究のタイトル		
事務局	韮崎サイエンスジムトップオブトップ部門 数学・化学分野(Aパート) 最優秀賞		佃 俊明 先生 賞状×2研究
	1 諏訪清陵	自然勾配法の実バナッハ空間への拡張	
	5 諏訪清陵	フラックス法を用いたエメラルド合成における生成の解明と考察	
	韮崎サイエンスジムトップオブトップ部門 工学・生物学分野(Bパート) 最優秀賞		風間 ふたば 先生 賞状×2研究
	10 安田学園	深層学習を用いたマーカーレス姿勢追跡ツール DeepLabCutによるミツバチの栄養交換を誘発する	
11 焼津中央	クワガタムシ幼虫に見られるメス斑とは何か？		
事務局	韮崎サイエンスジムネクストユニコーン部門 生物・宇宙・地域課題分野(Cパート) 最優秀賞		佐々木 智謙 先生 賞状×2研究
	14 安田学園	巣環境の再現から探るヴェロキラプトルの抱卵行動	
	15 焼津中央	釣り糸の生分解に寄与する微生物の同定	
	韮崎サイエンスジムネクストユニコーン部門 物理学・化学分野(Dパート) 最優秀賞		杉山 雅俊 先生 賞状×2研究
	21 韮崎	プラスチックを用いた新しいコンクリートの開発	
24 安田学園	BTB溶液を用いた電子の流れの可視化		
事務局	韮崎サイエンスジム人文社会・地域課題部門 最優秀賞		小田 雄仁 賞状×2研究
	27 富士見	日本の地域間における教育格差をなくすには ～山梨県の大学進学率が高い理由から考える～	
	28 安田学園	本所七不思議は何を伝えたかったのか	
	安田学園生物学賞		安田学園高校生物部顧問・OBOG 賞状、副賞(蜂蜜)
	15 焼津中央	釣り糸の生分解に寄与する微生物の同定	
12 韮崎	甘利山さわら池の調査～土砂災害の伝承から考える「さわら池」の未来～		
11 焼津中央	クワガタムシ幼虫に見られるメス斑とは何か？		
13 焼津中央	静岡県石津浜海岸における釣り人の動向と釣りゴミの解析		
27 富士見	日本の地域間における教育格差をなくすには ～山梨県の大学進学率が高い理由から考える～		
29 松商学園	外見至上主義者期における食育の重要性について		
※最優秀賞「釣り糸の生分解」、他5研究「奨励賞」			
事務局	安田サイエンス優秀賞		安田学園サイエンスクラブ員 図書カード、賞状
	4 諏訪清陵	α位をアルキル基で置換したジベンゾイルメタンフッ化ホウ素錯体の分子凝集過程	
	安田サイエンスフューチャー賞		安田学園サイエンスクラブ員 図書カード、賞状
	9 諏訪清陵	災害救助と林業支援を目指した多目的ロボットの開発	
	安田サイエンドレス賞		安田学園サイエンスクラブ員 図書カード、賞状
7 諏訪清陵	溶存酸素量と濃度の変化におけるルミノール発光の相関関係		
富士見	富士見未来賞		富士見高校生徒 お菓子
	3 安田学園	pH指示薬であるチモールフタレインの持つ新たな特性	
	富士見WOMEN賞		富士見高校生徒 お菓子
	25 松商学園	Ooho! を活用した匂いの吸着	
	富士見文系賞		富士見高校生徒 お菓子
28 安田学園	本所七不思議は何を伝えたかったのか		
事務局	富士見未知賞		富士見高校生徒 お菓子
	5 諏訪清陵	フラックス法を用いたエメラルド合成における生成の解明と考察	

	富士見探究賞	富士見高校生徒	お菓子
13	焼津中央	静岡県石津浜海岸における釣り人の動向と釣りゴミの解析	
焼津中央	情熱中央賞	静岡県立焼津中央高校生徒	焼津ご当地商品『バリ勝男クン』
14	安田学園	巣環境の再現から探るヴェロキラプトルの抱卵行動	
諏訪清陵	研究依存賞	諏訪清陵高校生徒	図書カード
12	韮崎	甘利山さわら池の調査～土砂災害の伝承から考える「さわら池」の未来～	
	スライド賞	諏訪清陵高校生徒	図書カード
28	安田学園	本所七不思議は何を伝えたかったのか	
	イマジネー賞	諏訪清陵高校生徒	図書カード
2	安田学園	ダーク条件で利用可能なハイブリッド型色素増感太陽電池	
松商学園	心に残ったで賞	松商学園高校生徒	図書カード
20	韮崎	穴の形を変えると吸音効果に違いは出るか	
28	安田学園	本所七不思議は何を伝えたかったのか	
甲府南	わくわくしたで賞	甲府南高校生徒	山梨の味セット
10	安田学園	深層学習を用いたマーカーレス姿勢追跡ツール DeepLabCutによるミツバチの栄養交換を誘発する	
	ロマンがあるで賞	甲府南高校生徒	山梨の味セット
14	安田学園	巣環境の再現から探るヴェロキラプトルの抱卵行動	
韮崎	韮高楽し賞	R5R6の韮崎高校卒業生	お菓子詰め合わせ×4～6研究(賞状なし)
7	諏訪清陵	溶存酸素量と濃度の変化におけるルミノール発光の相関関係	
13	焼津中央	静岡県石津浜海岸における釣り人の動向と釣りゴミの解析	
28	安田学園	本所七不思議は何を伝えたかったのか	
11	焼津中央	クワガタムシ幼虫に見られるメス斑とは何か？	
9	諏訪清陵	災害救助と林業支援を目指した多目的ロボットの開発	
29	松商学園	外見至上主義者期における食育の重要性について	
	韮高クリエイティブ賞	R7の韮崎高校卒業生	カステラ×5研究(賞状なし)
13	焼津中央	静岡県石津浜海岸における釣り人の動向と釣りゴミの解析	
2	安田学園	ダーク条件で利用可能なハイブリッド型色素増感太陽電池	
22	諏訪清陵	温暖化対策としての鉄平石の屋根面での使用について	
14	安田学園	巣環境の再現から探るヴェロキラプトルの抱卵行動	
18	韮崎	シャボン玉を用いた窒素消火剤 ～山林火災に活用～	
	韮高自然科学部賞	韮崎高校自然科学部23年	図書カード×5～7研究(賞状なし)
5	諏訪清陵	フラックス法を用いたエメラルド合成における生成の解明と考察	
13	焼津中央	静岡県石津浜海岸における釣り人の動向と釣りゴミの解析	
11	焼津中央	クワガタムシ幼虫に見られるメス斑とは何か？	
10	安田学園	深層学習を用いたマーカーレス姿勢追跡ツール DeepLabCutによるミツバチの栄養交換を誘発する	
9	諏訪清陵	災害救助と林業支援を目指した多目的ロボットの開発	
4	諏訪清陵	α 位をアルキル基で置換したジベンゾイルメタンフッ化ホウ素錯体の分子凝集過程	
14	安田学園	巣環境の再現から探るヴェロキラプトルの抱卵行動	
	韮高自然科学部新人が選ぶ賞	韮崎高校自然科学部1年	お菓子×5～7研究
8	安田学園	モーションキャプチャーを利用した空手の形競技の数値化	
5	諏訪清陵	フラックス法を用いたエメラルド合成における生成の解明と考察	
16	諏訪清陵	茅野市吉田山の水晶の産状と教育的利用について	
28	安田学園	本所七不思議は何を伝えたかったのか	
9	諏訪清陵	災害救助と林業支援を目指した多目的ロボットの開発	
13	焼津中央	静岡県石津浜海岸における釣り人の動向と釣りゴミの解析	
11	焼津中央	クワガタムシ幼虫に見られるメス斑とは何か？	

11. 協賛

お手伝いの依頼に協力してくれる OB・OG の皆様、葦崎高校関係者の皆様、十分ではない謝礼で審査員を引き受けてくださった方々、遠方からこの練習試合に来てくださった方々、すべてが協賛だと思っています。そのような理由からこちらに記載させていただきます。すべて、あいうえお順で記載しています。

① 参加校:

静岡県立焼津中央高等学校, 長野県諏訪清陵高校, 富士見高等学校, 松商学園高等学校,
安田学園中学高等学校, 山梨県立甲府南高等学校, (山梨県立葦崎高等学校)

② 外部からの審査員:(敬称略)

風間ふたば(山梨県立大学 地域人材養成センター 特任教授 山梨大学 名誉教授)

佐々木 智謙 (山梨大学大学院 総合研究部 准教授)

杉山 雅俊 (山梨大学大学院 総合研究部 准教授)

佃 俊明 (山梨大学教育学部 教授)

③葦崎サイエンスジム企画運営委員会(学校関係者のぞく・敬称略)

R5年度卒業生:浅川瑞姫, 荻原玲雄, 加藤俊和, 小池和輝, 中込百音, 八巻蒼,

R6年度卒業生:藤森湧

R7年度卒業生:飯野日陽, 小林健真, 塚原帆南

12. 諸連絡

①動画の撮影について

集合時から解散後まで係が動画を撮影していますが、それは以下の目的のためです。

(1)数分程度の結果報告のための動画作成のため

ホームページに掲載する前に参加校、審査員にはチェックしていただきます。映ってほしくない内容等を確認し、了承が得られた部分だけホームページに掲載します。

(2)防犯のため

無関係の人が無断で校内にいた、盗難等があった等、何かトラブルがあった際には、編集前の全データを警察等に提出します。参加していただく皆様の防犯にもつながります。

②次年度のエントリー等の流れと参加条件

本年度参加いただいた学校にはすべて連絡いたします。また、ホームページ等で本イベントを知り、興味を持ってくれた方は1月末までに学校代表メールや電話等で連絡いただけましたら、次年度のエントリーについての資料を送るメーリングリストに加えさせていただきます。

連絡先:山梨県立葦崎高等学校 自然科学部顧問 小田雄仁(0551-22-2415)

葦崎高校代表アドレス nirasaki-k[a]pref.yamanashi.lg.jp

【a】を@に変えてください

③アンケートのお願い

閉会行事後各校にお配りする資料にアンケート用紙がありますので、そちらの QR コードを読み取っていただき、回答をお願いします。なお、回答は大会1週間後 5/10 までをお願いします。